

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	川崎病における免疫グロブリン投与時間についての検討
研究責任者	小児科 松下 祥子
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	この研究は、川崎病の患者さんの症状や治療法とその後の経過を調べ、より適切な治療と経過観察ができることを目指しています。本研究は当院の臨床研究倫理委員会で承認されています。 【対象となる方】 2017～2019年に当センター小児科に入院し、その後経過観察を行った川崎病の患者さんです。 【研究の意義・目的】 川崎病は1967年に川崎富作らにより初めて報告された小児期に発症する原因不明の血管炎症候群です。その初期治療として大量ガンマグロブリン（以下IVIG）とアスピリンの併用療法が標準的です。IVIGの投与方法は日本では製剤間に注入速度の若干の違いはありますがおおむね12～24時間で投与されており、その投与速度は施設間で様々であり、IVIGの投与時間と有熱期間についての関連を検討した報告は多くありません。当院で川崎病と診断された患者さんの情報を収集し、新たな知見の有無を検討したいと考えています。
研究方法	【研究の方法】この研究は厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、臨床研究倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されているデータを収集して行う研究です。そのため、特に患者さんに新たにご負担頂くことはありませんが、謝金もありません。この研究のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝え頂くか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。参加されなかった方に不利益は生じません。 【個人情報の保護】 この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。お子さんの情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行います。 【研究結果の公表】研究の成果は、あなたの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表したいと思います。また 御希望があれば研究データを統計データとしてまとめたものを開示致します。

問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 小児科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：松下 様子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604
--------	--